

学年・教科：5 年・国語

単元名：事例と解説をもとに筆者の考えを読みとこう

時	内容	活動	有効であった点	改善を要する点	子どもたちの反応
1	見通しをもつ	・ 本文を読む。 ・ 本文全体の組立を確認する。 ・ めあてを確認し、本文の組立を「事例」「解説」「主張」に分け、班または全体で共有する。 ・ まとめと振り返りをする。	・ PC で簡単な組立について並べ替えを行うことができた。 ・ PC を使うことで本文全体を分かりやすくまとめることができた。	タイピングの能力に差があり、完成させるまでに時間が要した。タイピングの練習も同時に進めたい。	組立を並べ替える作業やキーワードである「事例」「解説」「主張」をまとめる作業を熱心に考えて進めている様子が見られた。
2 ・ 3	たしかめる	・ 「事例」について考え、事例について整理する。 (1) 自分たちの経験から「事例」とはどのようなことだと思うか伝え、本文を読んで確認する。 (2) 三つの事例から、言葉と事例について、起こったこと、大切なこと、必要なことについて表にまとめる。	PC 使って三つの「事例」がある各段落をわかりやすくまとめることができた	シンキングツールのうち、フィッシュボーン以外の選択肢も考えてみればよかった。	三つの事例を整理するとともに、それに関する考えをまとめて書くことができた。
4 ・ 5	くわしくよむ	*PC で映し出す表は、次時の学習にも用いるため、保存したり、資料箱に入れておいたりすると活用しやすい。	提出したデータをもとに内容や理由と共に話し合うことができた。	なかなか自分の経験と照らし合わせることができないので、前もって考えておくように指示するとよい。	事例を基に自分の経験と比べることで意欲的に考えることができていた。
6 ・ 7	まとめる	・ 整理した表をもとに、三つの事例のつながりについて考え、筆者が事例と解説を通して「言葉」と「事例」がどのような関係にあると述べているか、話し合う。 *事例 1 はうそつき少年の話、事例 2 は学級新聞、事例 3 は アメリカのデパートである。事例のあとには解説が書かれていることに気づかせる。	線を引いた箇所を共有することで、書く活動の参考にした。	「言葉」と「事例」がなかなかつながらず、小グループでもう少し時間を取って説明をさせるとよい。	表を基に「事例」「解説」から「言葉」と「事例」のつながりを考えることができた。
8	つたえあう		自分の経験をもとに話し合わせた。	「言葉」と「事例」がつながらない児童は、自分の経験ともつながらなかった。	同じような経験から、話し合ったのち、本文を真似しながら短い文章を書くことができた。
9	ふり返ろう	・ 「言葉と事実」を読んで考えたことについて、筆者の主張や身近な事例に気を付けて書く。 *筆者に共感、納得したところは、本文に線を引くようにするとわかりやすい。	筆者のどの考えについての意見を PC で区別しながらわかりやすくまとめた。	「主張」は理解できても、それに対して自分の意見をもつことがなかなかできず時間を要した。	筆者の主張から、自分の立場をはっきりさせて話し合いをおこなった。
伸ばせた力、子どもの変化、保護者の反応など ロイロノートのシンキングツールを用いることにより、本文全体や意味段落内のまとまりを整理することができるようになった。子どもの変化としては、ノートやプリントに記入することが苦手な子どもにとって、パソコンを使って入力したり、提出することにより共有し、話し合いを行ったりすることによって、取り組みやすくなり、学習に向かう態度や意欲も向上することが見て取ることができた。保護者にとっても、そういう流れになる前から学校で取り組むことに協力的な保護者がほとんどである。それが、学校からパソコンを持ち帰り、パソコンを家庭のWi-Fiにつなぐ割合が、100パーセントであることから伺える。					
所感 今後、ロイロノートを使わなくてもシンキングツールを自分なりに考えてまとめたり、頭の中にまとめながら整理したりしていくことも段階的にやれるようになることも必要になっていくと考える。また、パソコンを日常的に使うことは、今後テストがパソコンを使って行うことが多くなることを考えると、どんどん取り入れていかなければいけないと考える。					